

プログラム

第 I 部

音楽祭のプレリュード	A. リード
リートニア	H. ワルターズ
行進曲「雷神」	J. P. スーザ
吹奏楽のための組曲第1番変ホ長調	G. ホルスト
I. シャコンヌ	
II. インテルメッツォ	
III. マーチ	

第 II 部

カーニバルのマーチ	杉本幸一
A列車で行こう	
ディズニー・メドレー	
オーメンズ・オブ・ラブ	和泉宏隆
序曲「詩人と農夫」	F. スッペ

第 III 部

(OBのステージ)	
ひょっこりひょうたん島	
ラ・パンパ	
ダッタン人の踊り	ボロディン
(OBとの合同のステージ)	
吹奏楽のための民話	J. A. コウディル
栄光への脱出	E. ゴールド

平成4年度

川口市立芝中学校吹奏楽部メンバー

Flute

安孫子典枝 (3年)
小松まさき (2年)
江口 奈々 (1年)

Horn

細谷 美紀 (3年)
本多 牧子 (3年)
岩野 裕輔 (2年)
大屋 佳子 (1年)

Clarinet

瀬川美由紀 (3年)
本多 直子 (3年)
山本衣里子 (3年)
相関 幸恵 (2年)
佐々木洋美 (2年)
平田 真弓 (2年)
紀野国陽子 (1年)
平尾 理恵 (1年)

Trombone

作山 真理 (3年)
平野 直美 (3年)
千葉奈緒美 (2年)
秋光 美佳 (1年)

Euphonium

田口 洋子 (3年)
金岩 祐介 (2年)

Saxophone

五十嵐有希 (3年)
渋谷 雅子 (3年)
前川 葵 (2年)
服部 有希 (1年)

Tuba

原田 智尚 (3年)
小林 慶子 (2年)

Contrabass

伊藤 和美 (3年)
久米 裕子 (3年)

Trumpet

今泉 佳子 (3年)
木村 朋美 (3年)
相沢 瞳 (2年)
矢沢名奈子 (2年)
西原 香織 (1年)

Percussion

大野 綾子 (3年)
長谷川奈美 (3年)
谷場 亮子 (3年)
佐藤由香理 (2年)
高橋 里枝 (2年)

20th Regular Concert

川口市立芝中学校吹奏楽部第20回定期演奏会



日時 平成5年3月27日(土)

開場13:30 開演14:00

会場 蕨市民会館大ホール

第20回定期演奏会おめでとう

川口市立芝中学校校長 伊藤 勇

第20回定期演奏会を心よりお祝します。

吹奏楽部の定期演奏会活動が、20周年の記念すべき年となりました。学校の行事、地域の行事、コンクールへの参加等、部員一人ひとりの大変な努力と自覚にささえられ、今日を迎えました。

「継続は力なり」伝統ある芝中吹奏楽部は、創部以来関係した部員の力が結晶して、今日を迎えております。

芝中吹奏楽部の卒業生の会、保護者の会等関係の皆様のご協力を得て、定期演奏会が開催できることを大変うれしく思います。

生徒が日頃の練習で培った力を出し切って演奏します。ご期待ください。

本日の演奏会が、芝中吹奏楽部の発展のための大きな力となることを祈ります。創部依頼32年、吹奏学部関係の方々の多大なご支援ご協力に深甚なる感謝を申し上げ、ご挨拶といたします。

ごあいさつ

川口市立芝中学校吹奏楽部顧問 五月女 保幸

本日は、芝中学校吹奏楽部第20回定期演奏会にご来場いただき、誠にありがとうございます。

本校の校歌に「東に筑波、西に富士」という歌詞があります。現在では丘の上の芝中とはいえども東に芝園団地、西にネオンサインという風情で、遠くにそびえる山々を「朝な夕なに見さけつつ」登校するということはなくなってしまいました。芝地区も8万の人口をもつ地域に成長したわけです。

いうまでもなく学校は地域の中にあって機能を発揮するものです。したがって学校教育の中での吹奏楽部の活動は、地域の文化活動の一部といえると思います。

今日は本校吹奏楽部が地域に向けての発表の場を迎えました。練習不足、企画の拙劣さなどあると思いますが、どうかご容赦いただいて一生懸命頑張ります生徒たちに温かい拍手をお願いします。

第20回定期演奏会を迎えて

川口市立芝中学校吹奏楽部部長 小林 慶子

本日はお忙しい中、芝中学校吹奏楽部定期演奏会にご来場くださりましてありがとうございます。今年は20回というひとつの区切り目の演奏会を迎えることができました。ここまでこれたのも先生方のご指導とお父さんお母さん方の支えがあったからだと思っています。

今回の演奏会で演奏する曲はどれも難しい曲ばかりですが、今日まで部員全員が一致協力し、全力で練習してきました。また、3年生にとっても最後の演奏会でもあります。心をこめて演奏をしますのでいごまでごゆっくりお聞きください。

曲目解説

《音楽祭のプレリュード（A. リード）》

この曲は毎年5月アメリカのオクラホマ州のエニッドの町で開かれるトライステート ミュージック フェスティバルの25周年記念のために1957年に作曲された曲だそうです。トランペットとトロンボーンを中心とする輝かしいファンファーレにより開始され、主部に入り、木管とホルネット、ユーフォニアムのユニゾンによる主題が提示されます。中間部で少しゆっくりして主部のテーマが少し形を変えて現れ、再び早くなって、そのあと中間部のテーマが強奏され、最後にファンファーレの主題も現れて力強く終わります。

《リートニア（H. ワルターズ）》

「西部の人々」序曲とならんで、ワルターズの代表的な作品として親しまれています。短調の哀愁を帯びた部分と、長調の明るい部分のコントラストがなかなか良く、演奏している私たちをあきさせません。堂々とした導入で曲は始まり、木管楽器のきざみにのって低音楽器がリズムミカルな旋律を奏でます。つぎにとっても愛らしく美しいワルツになります。そして切々と歌い上げる美しい旋律となり、最後は堂々とした感じに終わります。

《行進曲「雷神」（J. P. スーザ）》

アメリカの第2の国歌ともいわれる「星条旗よ永遠なれ」で有名な「行進曲の父」ジョン・フィリップ・スーザは、小さい頃バイオリンを習いオーケストラで演奏していましたが、その優れた才能が認められアメリカ海兵隊バンドの隊長となりました。そして、その演奏レベルを高いものにするだけでなく、今でも世界中で良く演奏される行進曲をたくさん作曲しました。この行進曲「雷神」は、スーザの海兵隊時代に作曲され、今でも海兵隊の分裂行進に良くつかわれるそうです。日本でも良く演奏されるなじみのある曲です。

《吹奏楽のための組曲第1番変ホ長調（G. ホルスト）》

イギリスの作曲家グスターヴ・ホルストは王立音楽学校でトロンボーンを学び、卒業後はロンドンのセント・ポール女学校で教師をしながら、作品を発表しました。「惑星」などの管弦楽曲のほか、吹奏楽や金管合奏、管楽重奏などの作品も書いています。その中でも有名で20世紀の大作曲家の吹奏楽のためのオリジナル作品として重要な作品が1909年に作曲されたこの組曲1番変ホ長調です。

曲は次の3楽章からできています。
Ⅰ. シャコンヌ “シャコンヌ”は8小節程度の低音の主題（多くは3拍子）に基づく変奏曲で、各変奏のバックには絶えずこの主題が演奏されているのが特徴です。
Ⅱ. インテルメッツォ 速く軽快なリズムにのって、舞曲風の旋律が現れます。中間部ではゆっくりした旋律が出てきて、後半ではこの2つの旋律が一緒になって曲がすすめられます。
Ⅲ. マーチ 典型的なイギリス風のマーチで、旋律、ハーモニー、バスの動きなどとても楽しく素敵です。中間部に現れる旋律もとても美しく、この曲を特徴づけています。生徒たちの大好きな曲です。

《カーニバルのマーチ（杉本幸一）》

数年前の吹奏楽コンクールの課題曲だった、サンバのリズムを持つ風変わりな行進曲です。ラテン・パーカッションが大活躍します。中間部ではビギンという踊りリズムで、フォスターの「夢路より」に少し似た旋律が歌われます。

《A列車で行こう》

アメリカの有名なジャズバンド、デューク・エリントン楽団のオープニングスタンダードナンバーとして良く知られた曲です。この編曲では列車が発車していく描写的な導入からスイングのテーマに入っていきます。トランペット、トロンボーン、アルト・サクソフォンのソロがあります。うまくできたら拍手をお願いします！

《ディズニー・メドレー》

このメドレーは多くの人に夢を与えてくれるあのウォルト・ディズニーの漫画映画の音楽の中から「ミッキーマウス・マーチ」「小さな世界」それに白雪姫から「ハイホー」「いつか王子様が」「口笛を吹いて働こう」の3曲、さらに三匹の小豚から「狼なんかこわくない」そしてピノキオから美しいメロディーの「星に願いを」をピック・アップしたもので、いずれの曲も楽しいものです。この演奏では今年卒業の3年生がソロを演奏します。

《オーメンズ・オブ・ラブ》

日本のトップ・フュージョン・グループ、“ザ・スクエア”のキーボード奏者泉宏隆我作曲した曲です。

スケールの大きなイントロで始まり、スピード感のある流れるようなメロディーが続きます。のりのいい曲で3年生の強い希望で選曲しました。

《序曲「詩人と農夫」（F. スッペ）》

「輕騎兵」序曲で有名なオーストリアの作曲家フランツ・フォン・スッペの喜歌劇「詩人と農夫」の幕開けで演奏される序曲です。もとはもちろんオーケストラのために書かれた曲ですが、ヘンリー・フィルモアの編曲した楽譜で演奏します。

私たちはこの曲を今年度の吹奏楽コンクールで演奏しました。難しい曲で賞をとる事ができなかったのですが、暑い夏に全員一丸となって一生懸命取り組んだ曲なので忘れることのできない印象深い曲なのです。

《OBの演奏》

《ひょこりひょうたん島》

昔懐かしいNHKの人形劇のテーマ・ソングです。きょうは楽器で演奏するのですが、作詞には、有名な作家の井上ひさしが関わっていたのですね。ちなみに共同作詞家が山元護久、作曲が宇野誠一郎となっています。

《ラ・バンパ》

この曲「ラ・バンパ」（英語では「The Band」つまり楽団の意味）は、メキシコのベラクルス地方の民謡です。単純な循環コード、明快にして簡素なメロディーながら、情熱的な盛り上がりを見せる曲です。

《ダッタン人の踊り（ボロディン）》

ボロディンの歌劇「イーゴリ公」のなかで踊られるバレエにつけられた音楽です。ダビッド・ベネットの編曲は最初は静かな旋律に始まり、4つの踊りの曲が接続されています。荒々しく粗野な踊りの中に、3番目のダッタン人の娘の踊りのメロディーはひときわ美しく流れます。

《合同の曲》

《吹奏楽のための民話（J. A. コウディル）》

コウディルは、日本で最も多く演奏される作曲家の一人です。中でもこの曲は最もポピュラーなものです。中世的な民話物語ふうな、そして大変エキゾチックな東洋風メロディーがたくさん盛り込まれた曲です。

《栄光への脱出（E. ゴールド）》

この曲の作曲者アーネスト・ゴールドは、ウィーンで音楽を学びましたが、ナチスに追われてアメリカに渡りポピュラー・ソングを作っていました。そして1960年に「栄光への脱出」という映画に音楽を作曲し、アカデミー音楽賞とグラミー賞を受賞してアメリカの代表的な作曲家として知られるようになりました。

